

だいさんへんでんしょ  
第三変電所



だいさんへんでんしょ  
第三変電所

第三通洞前の旧第三集落に明治37年(1904)9月に建設されました。



東平の暮らしを  
明るく照らし続けて六十余年

ところで、「第三」というのは三番目という意味ではなく、第三通洞の第三(三番目に掘った通洞)からです。

第三変電所では、遠登志<sup>おとし</sup>にあった水力発電所から送られてくる3,300ボルトの電圧を変圧し、350ボルトにしていました。

当初、周波数は30ヘルツで、現在の半分の周波数でした。昭和25、6年に60ヘルツに切り換えられました。

変電した電気は、鉱業用と家庭用の電気として使用されていました。

ところで、この施設建設での資材運搬はどのようにして行われたのでしょうか。



昭和30年代撮影 第三集落全景 別子銅山記念館所蔵  
中央上部のトンネルは第三通洞に続く鉄道用のトンネル、  
正面上端の家屋は浴場、手前右の屋根は第三変電所



第三変電所のガイシ

まず端出場から索道で石ヶ山丈まで送り、そこから上部鉄道を利用し、一本松停車場まで送り、東平まで索道で降ろすという大変な苦勞をしました。

東平坑閉坑になる少し前の昭和40(1965)まで、61年間使用されていました。

しかし、この赤煉瓦造りの建物は現在も外観をとどめながら残されています。



これな〜んだ?

第三集落にあるこのトンネル、当時は何に使われていたのでしょうか?

答えは、裏にあります。

